



2017年
平成29年
1
月号
No.389

The Newsletter of the Town of Taiji



目次

新年挨拶.....	2	くじらの博物館便り.....	8
特集.....	4	お知らせ.....	10
トピックス.....	5	平成28年分確定申告について.....	11
住民福祉課便り.....	6	保健衛生関係行事予定.....	12

日の出 (写真提供：庄司起也氏)



新年あけまして おめでとうございます

太地町長 三 軒 一 高

皆さま方におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、30年のまちづくり計画の中期1年目となる年であり、生活及び防災道路として山中2号線の供用開始やそれに合わせたフリー乗降のコミュニティバスの運行開始のほか、住民の皆さまが多く利用される公民館のエレベーター設置も完了するなど、利便性の向上を図ることができました。また、4月には、「くじらとともに生きる」が日本遺産に認定されました。これを機に今後多くの方が先人達の築き上げた歴史を知ることになり、くじらの学術研究都市を目指す本町にとって大変喜ばしい限りです。

さて、本年は、本町の玄関口である森浦地区において、地域観光のゲートウェイとなる「道の駅たいじ」の供用が予定されております。道の駅の整備により、地域振興はもとより、汐入橋改修や周辺道路や交差点の改良など道路を利用される皆さまがより安全に通行できるようになります。新橋開通までしばらくの間、仮橋での通行となり、また周辺住民の皆さまには多大なるご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。次にこども園についてご報告いたします。より安全な高台で、日光のたくさんあたる環境で子どもが学び、遊ぶことができ、保護者の皆さまが安心してお子さまを預けることができる環境を創出するため、平見地区に新たな園舎を建設する予定です。昨年より園舎の設計に入り、本年工事に着工します。また、建設予定地の隣には老人ホーム南紀園がございますので、お年寄りと子どもの交流を図り、お年よりは子どもから元気をもらい、子どもはお年寄りからたくさんのお話を聞いていただきたいと思いますと考えております。

最後に太地駅の駅舎については、災害時に駅周辺の住民、駅利用者の皆さまの避難場所を確保するため、駅舎を防災複合施設として建て替えます。こども園と同様のスケジュールで進行しております。

このように町づくりを着実に進められますのは、町議会議員の皆さまや住民の皆さまのご理解とご協力の賜物であり、衷心より厚くお礼申し上げます。

結びになりましたが、皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年あけまして おめでとうございます

太地町議会議長 山下 雅久

年頭にあたり、太地町議会を代表し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様方におかれましては、希望に満ちた清しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町政の発展、町議会運営に対して深いご理解ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、現在の日本の経済情勢は、不況脱却、生活状況の改善が強く望まれている中であって依然厳しい状況が続いております。国の経済対策を始め各種政策効果の実施により社会不安の解消、経済の好循環へ向けて取り組んでいるところです。また、国内外では日々情勢が変化しておりますが、国においては、将来を見据えた財政・金融面での施策を強固なものとするべく行財政改革が進められています。当町においても刻々と変化する社会情勢を捉え、将来のまちづくりを具現化するべく政策運営に努めているところです。われわれ議員一同も独立した議決機関という立場から町長の政策判断、町執行部との議論を重ね、今後のあるべきまちの姿を思い描きながら、その役割を努めさせていただいております。

去年は熊本地震、鳥取県中部地震、大雨及び台風被害など各地で甚大な自然災害が発生いたしました。特に、東日本大震災以降の大きな地震の複数箇所での発生に、当地域で発生が予想される地震への備えを改めて認識した次第です。これまで町としては、防災複合施設及び避難路の整備を推進しておりますが、本年は駅舎を防災施設として機能させるための工事が実施され、更なる機能強化が図られます。これらの防災関係の事業に加えて道の駅建設、こども園建設など大型事業の実施、旧桝施設の活用推進を始めとする各種福祉関連事業及びインフラ等基盤整備事業など住民生活に根ざした事業が実施されます。これまで政策判断等様々な局面を経てまちづくりが順調に進んでおりますことを肌で感じているところでもあります。これらの事業の積み重ねが地域力の向上に繋がり、将来のまちづくりの礎となると確信しています。

町議会といたしましては、まちのあり方を見つめ、福祉、教育、医療、産業、商業等の充実、発展を積極的に推し進め、だれもが安全で安心な生活ができる魅力的なまちづくりを実現するために取り組んでまいりたいと考えます。そのために、行政とともに町政を支え、町民一人ひとりの声や意向を反映させながら住民生活の向上を図っていくよう議員一同誠心誠意努めてまいりたいと考えています。

今後も皆様方の一層のご支援ご指導をよろしくお願いするとともにご健勝ご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。

広報たいじで振り返る2016年



消防出初式



成人式



第6回くじら浜公園駅伝大会



フリー乗降バス導入



町道山中2号線開通式



公民館エレベーター施設竣工式



小学校入学式



中学校入学式



鯨供養祭



ツール・ド・熊野



くじらに会える海水浴場



白馬北小との交流会 in 太地町



消防多機能型車両購入



太地大運動会



第31回太地浦くじら祭

～（公財）日本消防協会から防災広報車が交付されました～

この度、公益財団法人日本消防協会から防災広報車が交付されました。

これは、同協会の福祉共済事業の一環であり、本町が申請をしたところ、日頃の防火活動が認められ、交付が決定されました。

この車両を今後の防災活動に積極的に活用します。



～わかやま冬の交通安全運動街頭啓発を行いました～

12月1日から12月10日まで「わかやま冬の交通安全運動期間」にあたり、初日の12月1日（木）に小畑石油付近交差点において街頭啓発を行いました。

新宮警察署員と本町交通指導員、交通安全協会員が通行する車のドライバーに対し、安全運転を呼びかけました。



～小学校持久走大会・中学校校内マラソン大会が行われました～

12月2日（金）、太地漁港において太地小学校持久走大会が、同月6日（火）には、太地中学校校内マラソン大会が行われました。

小学校持久走大会では、始めに低学年の児童たちがスタートし、その後に高学年が走りました。中学校校内マラソン大会では、始めに女子が3 kmを、次に男子が4 kmの距離を走りました。小中学校共に子どもたちはそれぞれ自分のペースで一生懸命に走っていました。また、コースには保護者や地域の人が詰めかけ、子どもたちに声援を送っていました。



小学校持久走大会



中学校校内マラソン大会

住民福祉課便り

肝炎無料出張相談会 ～最適な治療を受けるために～

国立病院機構南和歌山医療センター「肝疾患相談支援センター」の看護師、社会福祉士による「肝炎無料相談会」を新宮保健所で実施します。

このような悩みはないですか？

- 肝臓専門医に診てもらうにはどうすればいいの？
- 健康診断で肝機能に異常があるとされたけど・・・
- 治療に不安があるのだけど、どうしたらよいの？
- 治療費が心配・・・医療費の助成制度はどのようにしたら受けられるの？

肝疾患相談支援センターでは、最適な治療を受けられるようにお手伝いします。



日時 平成29年1月13日(金) 午前10時～午後4時(要予約)

会場 新宮保健所(新宮市緑ヶ丘2-4-8)

相談内容 ○肝炎の診断及び治療について(肝疾患全般)
○肝炎医療費助成について

(相談時間はお一人につき、約1時間を予定しています)

予約方法 電話にてご予約ください。

予約先 国立病院機構南和歌山医療センター
肝疾患相談支援センター
TEL: 0120-92-8160

共催 : 国立病院機構南和歌山医療センター 肝疾患相談支援センター
和歌山県 福祉保健部 健康局 健康推進課

お問い合わせ: 和歌山県 福祉保健部 健康局 健康推進課 (TEL: 073-441-2643)

平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が始まります

介護保険法の改正により、高齢者の皆さんの介護予防と日常生活の自立を支援する「総合事業」が創設され、ニーズに応じた多様なサービスを提供できるようになりました。また、これまで要支援1・2の認定を受けて利用していた介護予防サービスの一部(訪問介護と通所介護)がこの事業に移行することになりました。太地町では、今年4月から「総合事業」を開始します。

現在、要支援認定の人(要支援1・要支援2)は何が変わるの？

事業の枠組みが変わる以外大きな変更はありません。要支援認定の人への予防給付のうち、訪問介護・通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業に移行します。現在サービスを利用している人は、認定の有効期間中は継続して同じサービスを利用できます。

総合事業の仕組みやサービス内容、対象等の詳細につきましては、来月号以降の住民福祉課便りなどでまたお知らせしていきます。

太地町一般不妊治療助成事業について

太地町では、不妊に悩むご夫婦に対して、不妊治療にかかる費用の一部を助成しています。

◆ 対象となる方

不妊に悩むご夫婦のうち、下記の条件をすべて満たす方。

- 法律上の婚姻をしている夫婦で、夫又は妻のどちらかが和歌山県内に1年以上住民登録していること
- 各種医療保険に加入されている方
- 夫婦の前年所得の合計が730万未満であること

◆ 助成内容

〔助成額〕 1年度あたり3万円を上限とする。 〔助成期間〕 連続する2カ年

◆ 助成対象治療

- ・医療保険各法に規定する療養の給付が適用となる不妊治療（例：タイミング療法・薬物療法など）
- ・医療保険適用外の不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精を除く治療（例：人工授精など）
- ・治療の一環として行われる検査、及び治療開始前に不妊原因を調べる為の検査
- ・医療保険適用の有無に関わらず、不育症治療及び検査

◆ 申請時期：治療を受けた日の属する年度内に申請

お問い合わせ

太地町役場 住民福祉課

☎ 59-2335

インフルエンザの予防接種について

インフルエンザ予防接種希望者の申し込みを受け付けます。接種を希望される方は、役場住民福祉課（☎59-2335）にお申し込みください。



【対象者】

- ① 予防接種時に満65歳以上の方
- ② 60歳以上65歳未満であって、一定の心臓、腎臓、若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方（身体障害者1級程度）
※②に該当する場合、医師の診断書又は身体障害者手帳の写しが必要です

【接種場所】

町内の医療機関（坂野医院 ☎59-2063）

※町外の医療機関でも接種できる場合がありますので、役場住民福祉課にご相談ください

【予防接種の時期】

平成29年1月31日まで（医療機関により異なる場合がありますので、医療機関にお問い合わせください）

【予防接種料】

自己負担額 1,000円（接種時に医療機関へお支払ください） ※ただし生活保護世帯の方は無料

【予防接種の受け方】

- ① 役場 住民福祉課に申し込みをします。（☎59-2335）
- ② 予防接種を希望する医療機関に各自で予約します。
- ③ 役場から「インフルエンザ予防接種券」「インフルエンザ予防接種予診票」「インフルエンザ予防接種説明書」等が届きます。
- ④ 予防接種当日に「インフルエンザ予防接種券」「インフルエンザ予防接種予診票」を医療機関に持参して予防接種を受けます。
- ⑤ 接種後「インフルエンザ予防接種済証」は大切に保管してください。

お問い合わせ

太地町役場 住民福祉課 ☎ 59-2335



仙台藩内の捕鯨

Whaling in the Sendai Domain

宮城県立東北歴史博物館で開催された特別展「日本人とクジラ」に、興味深い資料が出品されていました。

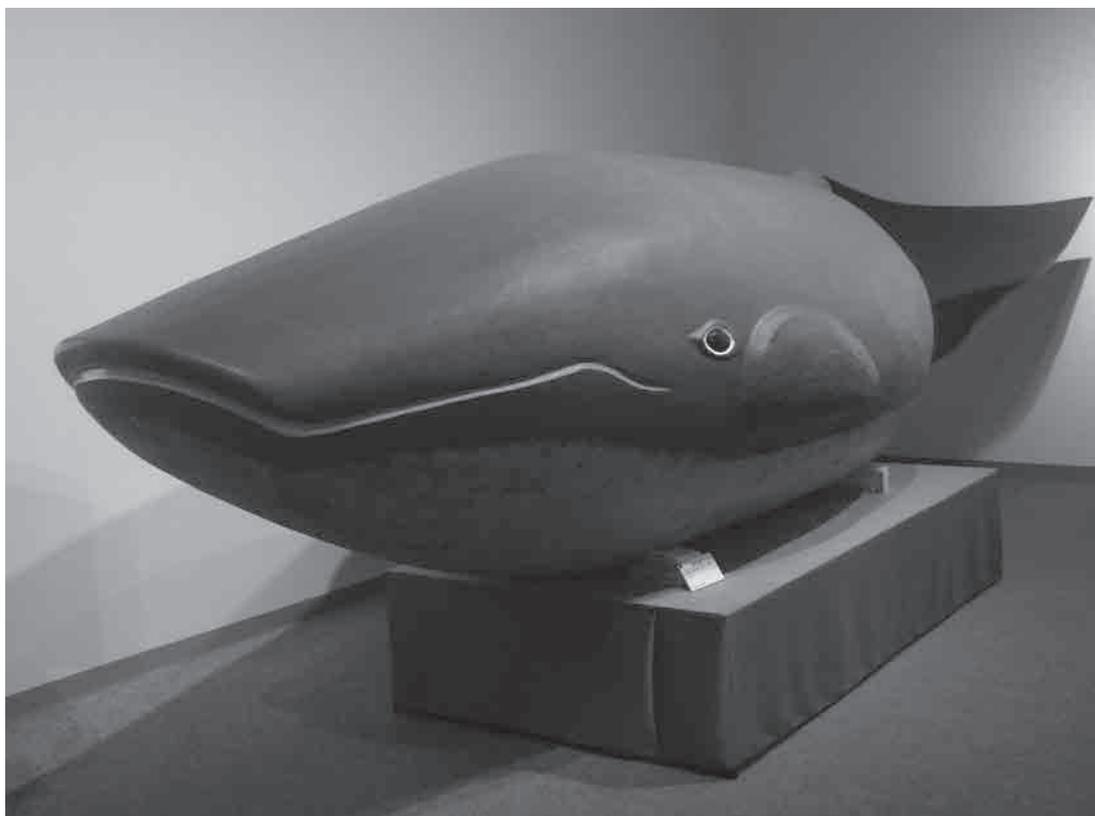
仙台藩は、財政再建のために捕鯨に注目し、天保9年(1838)に、狐崎浜(石巻市)の大庄屋であった平塚雄五郎と、大須浜(石巻市)の庄屋であった阿部源左衛門を鯨漁の責任者に任じました。宮城県内の考古遺跡からは鯨骨が出土していますが、これらは寄り鯨であったようです。仙台藩内で組織だった捕鯨が行われたのは、江戸時代も後期になってからでした。仙台藩の儒学者であった大槻清準が、当時の鯨や捕鯨の情報を広く集め、全6巻にまとめて、文化5年(1808)に江戸の昌平坂学問所に提出した『鯨誌稿』にも藩内で捕鯨が行われたという記述はありません。

さて狐崎浜の平塚雄五郎の捕鯨がどのようなものであったかを物語る資料は見つかっていませんが、大須浜の阿部源左衛門の捕鯨は記録が残っています。特に詳細な情報が分かる天保11年(1840)からの3年間の記録を見ると、

漁期は旧暦の3月初めから5月半ばまで、12艘の船で総勢96人が捕鯨に従事しました。3年の間に捕獲したのはセミクジラ2頭とザトウクジラ5頭に過ぎず、およそ千両もの損失を出しました。

天保10年(1839)の記録には、仙台藩内ではあまり鯨肉が消費されていないこと、マグロやタイ、生のカツオを手に入れることができる人々は鯨肉を欲しがらないこと、生肉や塩蔵肉は藩の外で売りさばくこと、鯨油は足りないほどなので藩内で販売することなどが書かれています。

仙台藩内の捕鯨は、どうもこの4年間の赤字操業だけで終わってしまったようです。しかし明治39年(1906)になると、大須浜に近い鮎川浜で近代捕鯨基地が稼働し、瞬く間に日本を代表する捕鯨地域になりました。クジラと人の関係が所々で異なり、また短時間で変化し得ることが分かります。



仙台市から南におよそ80キロ離れた福島県南相馬市津神社の「浜下り」神事に登場するクジラの山車。地区に捕鯨の歴史はない。子どもたちが、クジラの山車と大きなカブの形をした山車を「大浜大漁、陸万作」というかけ声で引っ張り、地区内を練り歩く。



「海のカナリア」シロイルカ

あけましておめでとうございます。

今回は酉年にちなんで、「海のカナリア」とも呼ばれるクジラ「シロイルカ」についてお話したいと思います。

シロイルカは、英名の「ベルーガ」という名前でも知られています。最大体長5.2mの中型のハクジラで、鼻の孔をふるわせて出す鳴音の美しさや種類の多さから、船乗りの間で「海のカナリア」と呼ばれてきました。

彼らの名前の由来にもなっている白い体の色は、実は生まれてすぐから白いわけではありません。生まれたときの体の色は灰色で、成長するにつれて白くなっていくのです。白い体は、彼らの暮らす北極圏の冷たい海において、身をかくすためのカモフラージュとして役立ちます。

生まれたての子どもの体の色が白ではないことから、シロイルカのご先祖様は白い体の色をしていなかったと考えられます。ある時、シロイルカの中に体の色素が少なくなって色が白くなる個体が現れて、北極圏の氷に覆われた環境ではそうした遺伝子が生き残りに重要な働きをしたため、体を白くする遺伝子をもった個体がどんどん増えていき種として定着したと考えられるのです。同じような現象は、ホッキョクグマやホッキョクギツネなどにもみられます。遺伝子の働きで、体の色素が少なくなり白くなった個体を白変個体とよんでいます。くじらの博物館にいる白いハナゴンドウ「ハマト」と「ユウジ」もこの白変個体だといわれています。ちなみに白いバンドウイルカ「スピカ」は、瞳が赤いことからメラニンという色素をつくる遺伝子に欠損がみられる「アルビノ」と考えられるので、メラニンをつくる遺伝子が正常な白変個体とはちがうもののだといえます。

さて、さらに外からみて分かるシロイルカの特徴として、背びれがないことが挙げられます。これも体色と同じように、彼らが生活の場に上手く適応できるよう進化した結果だと考えられています。背びれのない滑らかな体のおかげで、1年のほとんどを氷の塊に覆われている北極圏の海においても自由に氷の隙間を泳ぐことができるのです。

最後に彼らのユニークなからだの特徴についてお話します。シロイルカの首は多くのクジラの仲間とちがって、上下左右に動かすことができるしくみになっています。これは海の底にいる魚やイカ、カニやエビなどのエサ生物をみつけやすくするために進化した特徴といえます。一般に多くのクジラの仲間では、水の抵抗を直接首に受けずにすむように7つの首の骨がひとつの骨の塊のようになっています。ところがシロイルカなど海の底にいる動物をエサにするクジラたちの首の骨は、7つの骨がばらばらになっていて自由に動かすことができるのです。

今回は、90種類近くいるクジラの仲間からシロイルカを紹介しました。1種をとっていても興味深いことがたくさんみえてきます。皆さんも図鑑を開いて気になるクジラについて調べてみてはいかがでしょうか。



お知らせ

太地いきいき
情報コーナー

平成 28 年度県民相談・交通事故相談

[移動県民相談（無料弁護士相談）]

交通事故相談も含む。

日時 平成 29 年 1 月 18 日（水） 13 時から

場所 東牟婁振興局

○電話予約制：定員 10 名

○予約受付：1 月 4 日～1 月 18 日 14 時まで

定員になり次第、締め切らせていただきます。

○法律問題については、弁護士が回答いたします。

「相続登記・遺言に関する無料講演会・相談会」のご案内

（土地や建物の相続登記はお済みですか？）

相続が発生した時に、土地や建物の不動産の名義変更（相続登記）を行わないと、将来、相続人が増えてしまい手間と費用がかさんだり、不動産を売却しようとしても、すぐに売ることができない場合があります。また、遺言を残しておかないと、相続人間でトラブルが発生することがあります。

今回、和歌山地方法務局では、和歌山公証人会ならびに和歌山県司法書士会と連携し、無料講演会を開催します。相続登記がお済みでない方や遺言を考えている方は、この機会をぜひご利用ください。

■日 時 平成 29 年 2 月 4 日（土） 9 時 30 分～11 時 35 分（開場：9 時）

■場 所 太地町公民館

■内 容
（1）相続登記について
（2）遺言について
（3）相続登記・遺言無料相談会

■定 員 30 名

■問い合わせ 和歌山地方法務局新宮支局 TEL 0735-22-2757

自衛官等募集案内

受験科目	応募資格	受付時間	試験日	試験会場
幹部候補生	22 歳以上 26 歳未満の者（20 歳以上 22 歳未満の者は大卒（見込含）、修士課程修了者等（見込含）は、28 歳未満 ※年齢は H30. 4. 1 現在	平成 29 年 3 月 1 日～ 5 月 5 日	（一般）1 次 平成 29 年 5 月 13 日 （飛行要員）1 次 平成 29 年 5 月 14 日	和歌山市内及 び全国各都道 府県
自衛官候補生	18 歳以上 27 歳未満の男女 ※年齢は H29. 4. 1 現在	平成 29 年 2 月 17 日まで	（1 月） 平成 29 年 1 月 22 日（日） （2 月） 平成 29 年 2 月 18 日（土）	和歌山市内
予備自衛官補	18 歳以上 34 歳未満の者 年齢は H29. 4. 1 現在	平成 29 年 1 月 6 日～ 4 月 7 日	4 月中旬	和歌山市内

※お問い合わせは、自衛隊新宮地域事務所 0735-21-3449 まで

平成 28 年 分 確 定 申 告 に つ い て

所得稅・消費稅の確定申告

1 稅務署の申告会場開設日程

- 申告会場は、2月16日(木)から開設しております(2月15日(水)以前は開設していません)。
- 申告会場では、16時まで申告相談の受付をしておりますが、混雑状況によっては早めに相談受付を終了させていただく場合もございます。

種 類	申 告 会 場 開 設 期 間	納付期限	口座振替日
所得稅の確定申告	2月16日(木)から3月15日(水)	3月15日(水)	4月20日(木)
消費稅の確定申告 (個人事業者)	2月16日(木)から3月31日(金)	3月31日(金)	4月25日(火)
贈与稅の申告	2月16日(木)から3月15日(水)	3月15日(水)	

※ 土曜日・日曜日・祝日は稅務署の閉庁日です。

2 稅務署以外の申告会場開設日程

会 場 \ 開設日	2月							受付時間
	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	27 月	28 火	
太地町公民館		○						9:30~12:00 13:00~15:00
串本町文化センター				○	○			
古座川町中央公民館							○	

- ※1 本年は、那智勝浦町役場には申告会場を開設していませんのでご注意ください。
- ※2 各会場とも土地・建物・株式等を売却された所得、山林所得、贈与税や相続税に関する相談は行ってありませんので、これらの相談に関しましては直接稅務署へお越しください。
- ※3 各会場の受付は、混雑状況等により、早めに締め切らせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**個人で事業や不動産貸付等を行う全ての方は、
記帳と帳簿書類の保存が必要です！！**

《記帳する内容》

売上げなどの収入、仕入れや経費について、
取引年月日や金額等を帳簿に記載します。

《帳簿書類の保存》

帳簿のほか、請求書・領収書などの書類を
整理して保存する必要があります。



※ 所得稅及び復興特別所得稅の申告の必要がない方も対象となります。

《保健衛生関係 1 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時間	場所
1月12日(木)	ちびっ子ひろば	9:30～11:00	ふれあいルーム
1月19日(木)	ちびっ子ひろば		
1月26日(木)	ちびっ子ひろば		

健康相談

月 日	事業名	時間	場所
1月11日(水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
1月18日(水)	成人健康相談(血圧測定)	10:30～11:30	公民館
		<u>13:00～13:30</u>	平見集会所
		<u>13:45～14:15</u>	老人憩の家
1月30日(月)	成人健康相談(血圧測定)	<u>14:30～15:00</u>	寄水集会所
1月30日(月)	成人健康相談(血圧測定)	15:00～15:30	森浦集会所

健康教育

月 日	事業名	時間	場所
1月16日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
1月30日(月)			
1月23日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	森浦集会所
1月30日(月)			

健診

月 日	事業名	時間	場所
1月5日(木)	10か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
1月19日(木)	1歳6か月児健診	12:30～12:40(受付)	多目的センター
	3歳6か月児健診	12:40～12:50(受付)	
1月26日(木)	4か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター

—白馬からお便り— 【姉妹都市「白馬村」コーナー】



震災復興村営住宅竣工式

11月25日に堀之内地区の東部グラウンドにおいて、震災復興村営住宅の竣工式が行われました。当日は阿部知事をはじめとして、これから入居される住民など多くの関係者が出席し、神城断層地震からの復興の一つの節目として新たなスタートの一日を切る事ができました。

式典では、下川村長から入居者の方々に住宅の鍵の受け渡しが行われ、本格的な冬を迎える前に入居が開始となりました。震災復興村営住宅は堀之内地区のほか三日月市場地区、白馬町地区に全10棟18戸が完成しました。

住民基本台帳

(平成28年11月末日現在)

総人口 3,264人

男 1,482人

女 1,782人

世帯数 1,637世帯

(前月比: 総人口 4人減)

世帯数 2世帯減)

第7回くじら浜公園駅伝大会

日時 平成29年2月5日(日) 10:30

場所 くじら浜公園 くじらのしっぽ噴水前より
スタート